

## 第1回飛騨市公共施設在り方検討部会会議

日 時：令和8年6月16日（火）16:00～

場 所：飛騨市役所西庁舎3階大会議室

### 次 第

1. 開会

2. 委員の委嘱

3. 市長挨拶

4. 委員紹介

5. 部会長の選任

6. 部会長挨拶

7. 説明事項

①部会の役割について 資料 No 1

②公共施設の維持管理を取り巻く「**危機的課題と現状**」について

(1)市の財政状況と見通しについて 資料 No 2

(2)市の公共施設保有状況と老朽度について 資料 No 3

(3)経常的、突発的に発生する高額修繕費などについて 資料 No 4

(4)検討対象20施設の運営状況について 資料 No 5

8. 協議事項

①部会における方向性検討の目標、視点について

(1)施設維持管理費と大規模改修費の削減目標について 資料 No 6

(2)目標達成のための方向性と代替案・活用案の創出について 資料 No 7

②自由討議

9. 今後のスケジュールについて 資料 No 8

10. 施設視察について 資料 No 9

11. 閉会

# 公共施設在り方検討部会の役割について

## 1. 飛騨市の公共施設（ハコモノ）の現状

- 市役所や文化交流センターなどの大きなものから、キャンプ場バンガローなどの小さなものまで、その数 **900超**
- しかもその大半が築30年以上。老朽化率 **70%超**

つまり、

今後必要となる維持修繕費用と、現在の市の財政状況を踏まえると、全ての施設をこのまま維持し続けることは **困難**



## 2. 公共施設の管理運営の基本方針は、「選択と集中」 <第2期飛騨市総合政策指針>

- あえて長寿命化を図らず、老朽化による廃止という選択も必要
- 延命化する場合においても、機能の全てを維持するとは限らず、規模縮小や一部廃止によるコスト縮減という考えも必要
- これらの考えを前提に、**維持する施設を選択し、集中的に投資していく。**

# 公共施設在り方検討部会の役割について

## 3. 維持管理費が高額な施設への対応

公共施設の中でも、特に維持管理費が高額な「温浴施設（5施設）」、「宿泊施設（9施設）」、「スキー場（2施設）」、「人工芝グラウンド（4施設）」の集客施設について、優先的に今後の方向性検討に取り組むことを決定。

### 総合政策指針での目標設定

- 指針の終期である**令和11年度までに、20施設の方向性決定**
- 令和16年度末までに、**今後の投資必要額を3割削減**（※参照：指針の抜粋）



## 4. 本部会の役割

- 「選択と集中」の基本方針に基づき、これら**20施設の在り方（方向性）を調査・審議**
- 令和8年12月までに検討部会としての意見をまとめ、**市に提言**

---

## 3. 公共施設の管理運営

### (1) 公共施設の現状

市内には様々な分野に大小多くの建物があり、その数は 900 を超えますが、その半数近くが築 30 年以上を経過しており、その比率は今後さらに高まることが予想され、10 年 20 年後といった長期的なスパンで考えると、施設の改修や建替えなどへの対応が大きな課題となっています。

第 2 章で述べた人口減少や年代別人口構成の変化、市民のライフスタイルの多様化等に伴う施設の利用需要の変化及び今後見込まれる厳しい財政事情等を踏まえ、将来を見据えた公共施設等の計画的管理の基本的方針として、「飛騨市公共施設等総合管理計画」及び「飛騨市公共施設個別施設計画」を策定し、公共施設の管理運営を進めています。

個別施設計画では、長期的な視点の下、予防保全により各施設を標準的な耐用年数を超えて使用することで建て替え時期を延伸し、計画期間中の総投資額を抑制することを基本的な考え方としており、各施設の現状を把握した上で、長寿命化に資する具体的な対策を洗い出し、計画的に行うことで、財政負担の軽減、平準化を図ることを目標としています。

しかし、各施設の維持管理に対して毎年多額の一般財源が充てられている中で、近年、特に観光施設を中心とした集客施設では、設備の経年劣化による突発的な修繕事案が多発しており、これらについては補助金や有利な起債が無く、施設を維持し続けることが将来にわたり大きな財政的負担となっています。

また、人口減少等の社会情勢の変化により、多くの施設が設置当時と需要状況が異なってきたことや、合併によって用途目的が重複している施設が複数あり、類似施設等の廃止・転用等、施設のあり方そのものについても、地域や市民との意見交換を踏まえて検討を進める必要があります。

### (2) 管理運営の基本方針

管理運営の基本方針を **「選択と集中」** とします。

これまでは現有資産を有効に長く使うという考えから、基本的に長寿命化を前提としていましたが、厳しい財政状況と社会情勢の中では、あえて長寿命化を図らず、老朽化による廃止という選択も、今後は増やさざるを得ません。

加えて、延命化する場合においても、機能の全てを維持するのではなく、規模縮小や一部廃止によるコスト縮減を前提に、維持する施設を**選択**し、**集中的**に投資していく必要があります。

---

### (3) 基本的な考え方

- ① 施設として使用可能な状態であっても、情勢の変化によって公の施設としての役割を終えた（市営施設である必要性が薄まった）と認められるものについては、  
国庫補助金返還等の制約に配慮しつつ、民間へ譲渡 を検討します。
- ② 施設の廃止検討をする基準として、以下のような基準を設けます。
- ・大規模な修理や機器更新が必要で、一度に高額な投資（1億円以上）が必要となる場合
  - ・突発の修理や機器更新費用が、過去5年累計で5千万円以上となる場合
  - ・年間の維持管理費が高額（3千万以上）である場合
  - ・施設の目的に、民間競合がある、または新たにできる場合（近隣市を含めて）
  - ・施設の目的が、市民のニーズと合わなくなった場合

これらの手段によって、限られた財源を、本当に市民にとって必要な施設を選択して、それらを維持していくために、集中して投資していく方針とします。

### (4) 維持管理費が高額な施設への対応

中でも、次ページ記載の**4種（宿泊、温浴、スキー場、人工芝）20施設**については、維持管理費が高額で上記課題が顕著であることから、施設の今後の方向性検討に優先的に取組みます。

特に、民間による施設の有効活用が、市の財政的にも、地域の活力維持の面からも、最も効果が期待されると考えられることから、譲渡、貸付、委託等のあらゆる民間活用を検討します。

この20施設の今後の方向性については、本指針の期間である5年後（令和11年度末）までに決定することとし、10年後（令和16年度末）までに**今後の投資必要額（検討リストD欄）を3割削減することを目標**とします。

## 見直し検討リスト

単位：千円

名称	種別	A 過去5年の 維持費実績 (2019-23)	B 今後10年間の 維持費予測 (2024-33)	C 大規模改修 必要額	D (B+C)
桃源郷温泉すばーふる	温浴施設	124,345 (7,892)	284,030 (60,360)	446,870	730,900
ゆわ〜くはうす		119,586 (32,821)	257,562 (84,042)	277,768	535,330
Mプラザ		219,285 (113,974)	272,635 (42,635)	681,970	954,605
割石温泉		76,732 (18,299)	207,733 (56,603)	367,993	575,726
おんり〜湯		136,799 (36,724)	247,693 (47,543)	482,779	730,472
まんがサミットハウス	宿泊施設	91,286 (26,586)	158,659 (28,659)	452,678	611,337
ホテル季古里		26,958 (21,649)	28,405 (22,745)	669,125	697,530
なかんじょ川		11,376 (6,349)	15,309 (5,239)		15,309
アスク山王		6,752 (2,557)	14,475 (6,075)		14,475
やまびこ学園		27,381 (14,842)	35,726 (12,446)		35,726
板倉の宿種蔵		22,033 (1,943)	51,014 (11,014)		51,014
ナチュールみやがわ		6,152 (6,152)	11,146 (11,146)		11,146
流葉オートキャンプ場		11,354 (4,944)	33,070 (20,250)		33,070
山之村キャンプ場		12,606 (5,882)	58,123 (36,423)		58,123
飛騨かわいスキー場		スキー場	195,098 (132,667)	355,898 (245,668)	
ひだ流葉スキー場	300,913 (201,308)		884,872 (647,662)		884,872
ふれあい広場	人工芝	6,455 (455)	12,961 (961)	345,000	357,961
古川ラグビー場		3,356 (356)	6,000 (0)	345,000	351,000
流葉交流広場		8,512 (3,795)	9,460 (0)	345,000	354,460
杉崎公園グラウンド		1,522 (1,233)	3,044 (2,466)	345,000	348,044
合計		1,408,501 (640,248)	2,947,815 (1,342,737)	4,759,183	7,706,998

※A,Bの内訳：指定管理料（又は直営経費）借地料、修繕料の合計。

下段は修繕料のみ（内数）

飛騨市公共施設在り方検討部会

# 市の財政状況と見通し

令和8年6月16日

総務部財政課

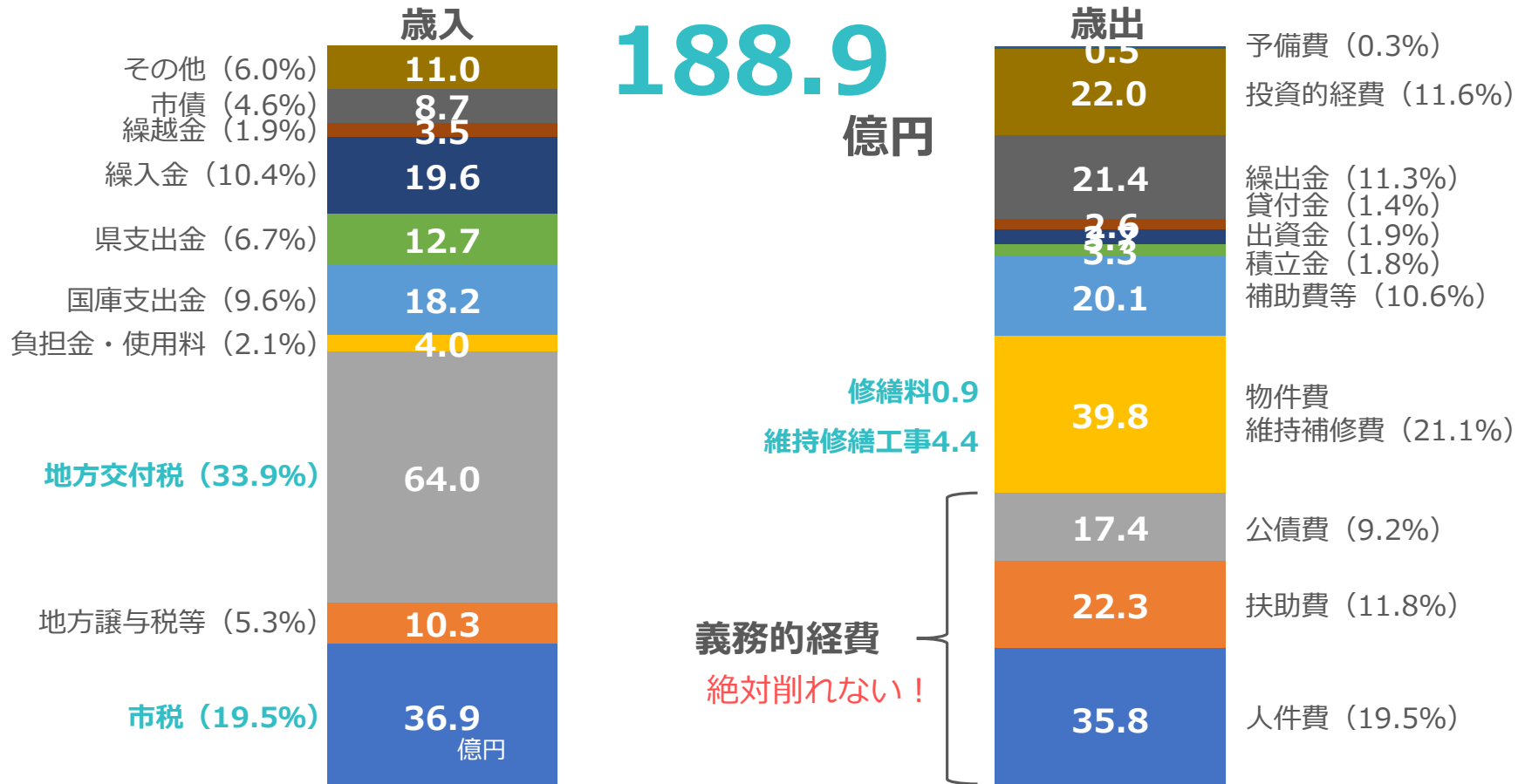


HIDA CITY  
飛騨市

# 1. 飛騨市の予算状況

## 令和8年度予算

- 飛騨市の予算の約3割は国からの地方交付税で賄われている
- 義務的経費、施設や道路の修繕が年々増加
- 施設や道路の維持修繕に約5.3億円だが、これ以外に年度途中で突発修繕がある
- 市税は一部企業に影響を受ける上、増収分は地方交付税が減額されるため総額は増えない



# 1. 飛騨市の予算状況

施設の修繕には大きく分けて2種類あります

## 改修

施設の機能を向上させる

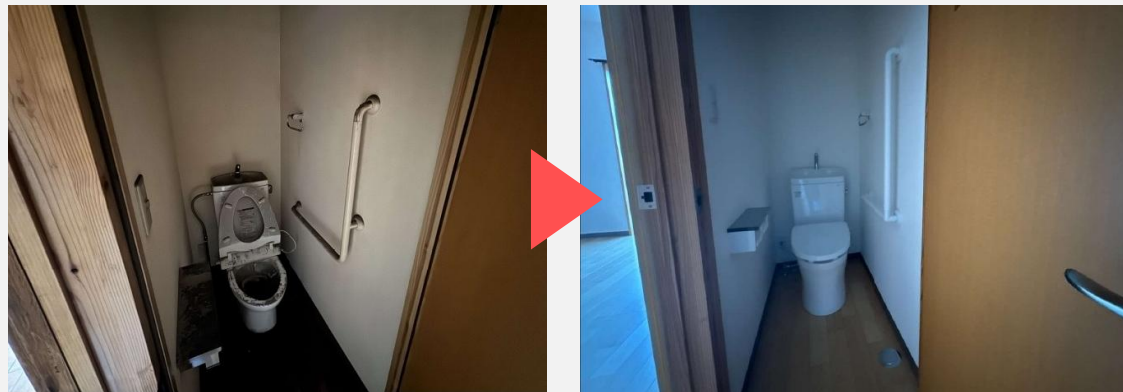
- ◆ 国等の補助制度の活用が検討できる
- ◆ **市債（借金）を借りる**検討ができる
- ◆ 計画的な実施の検討ができる



## 修繕

施設の機能を元の状態に直す

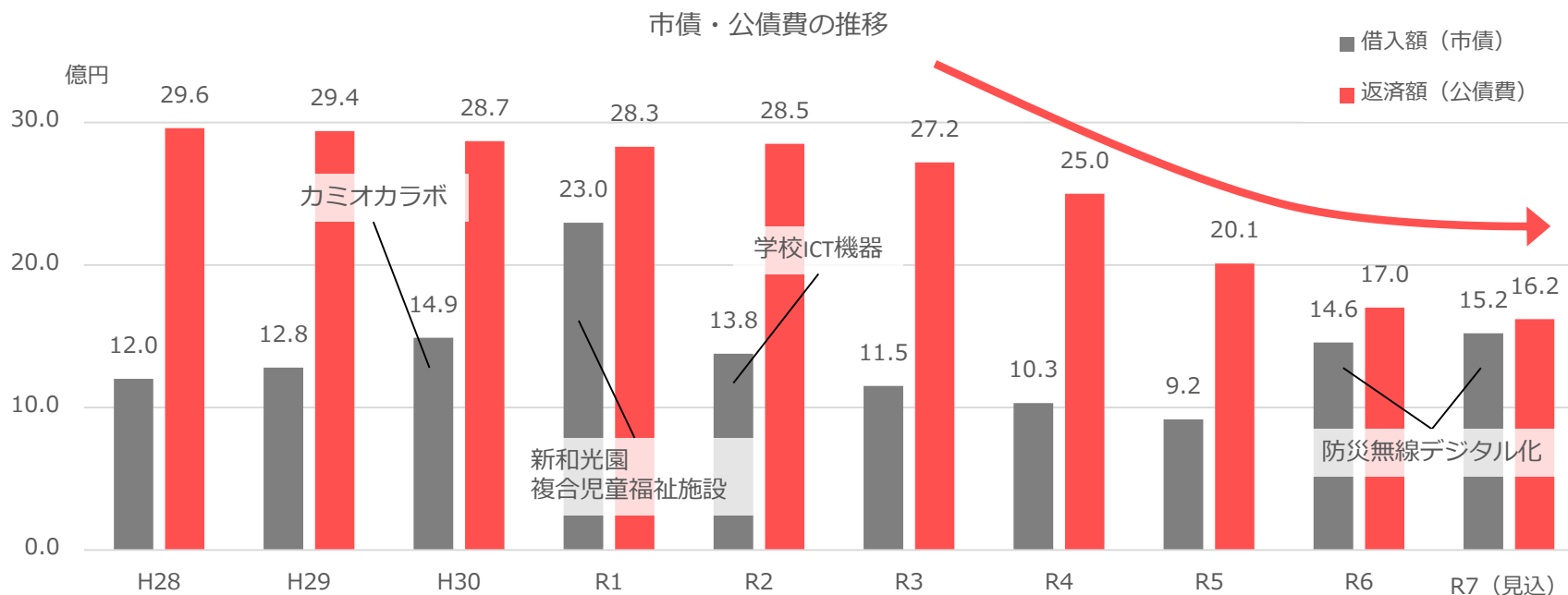
- ◆ 活用できる国県補助が無い
- ◆ 借りられる市債が無い
- ◆ 突発的であり緊急対応が必要
- ◆ **基金（貯金）を活用するが、金額によっては先送り**せざるを得ない



## 2. 市債（借金）の運用状況

### 借入れの状況

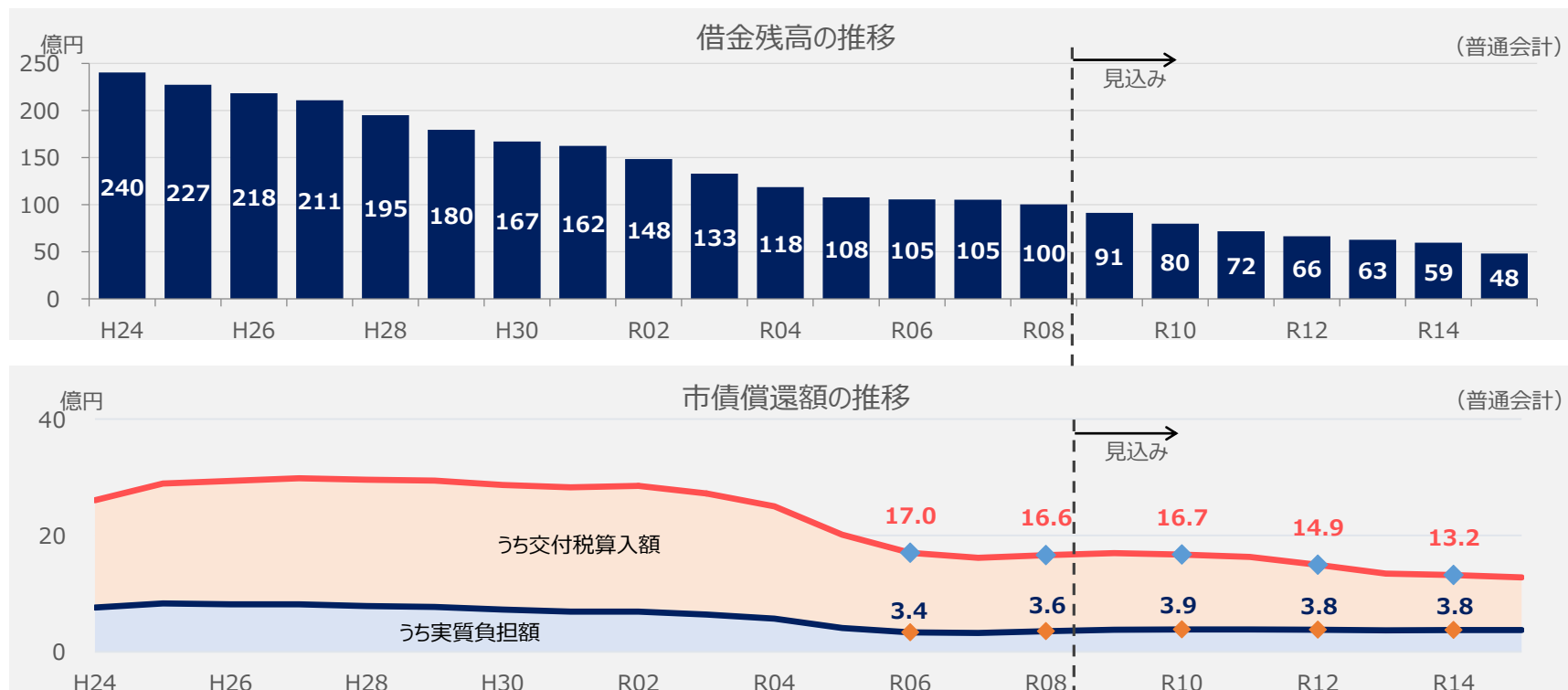
- 市債は家庭で言う「借金」で、主に道路事業や施設改修時に活用
- 様々な種類があるが、中でも**借金の返済に国の支援があり市の返済負担が少ない借金**を活用
- 借入額が返済額を越えない「**プライマリーバランスの黒字**」を維持
- イレギュラーな大型事業を除き、毎年9億円程度を借入
- 道路インフラ4億、ソフト事業1億を除き、全施設等に活用できる年額は約4億円



## 2. 市債（借金）の運用状況

### 返済の状況

- 借金（市債）残高は年々減少
- 毎年の借金返済額（公債費）は、過去の大型事業の返済が終わり、下げ止まりの状況
- あまり大型投資をすると次の年の借金返済額が大きく膨らみ、予算編成に支障を来す

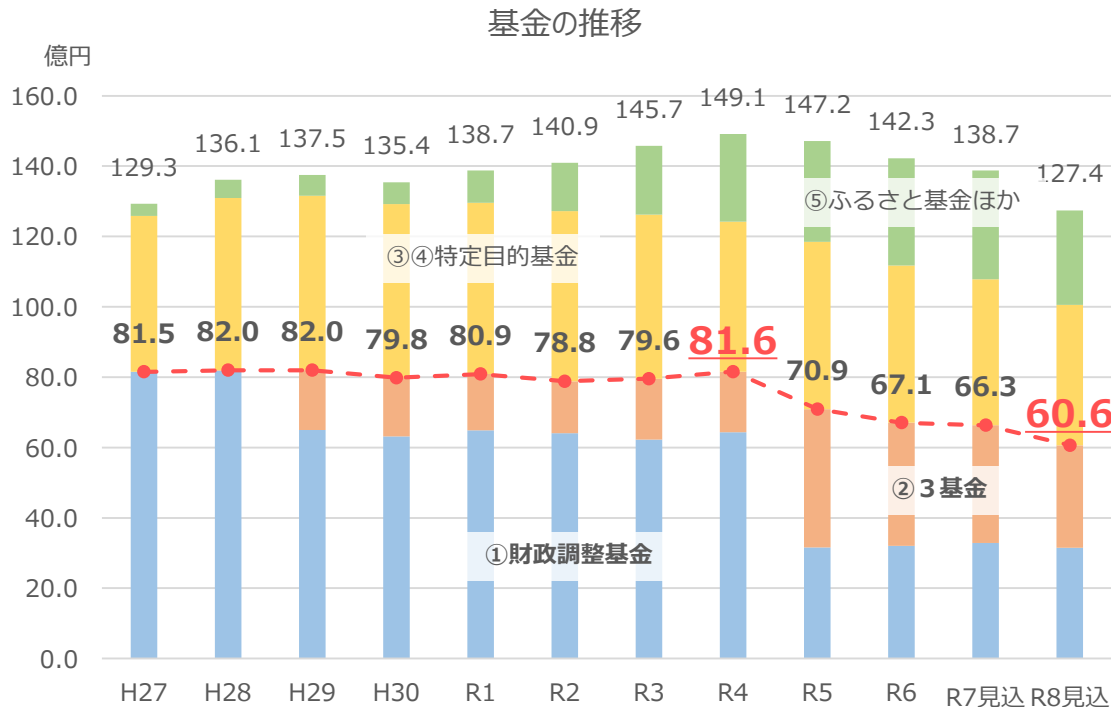


➤ 毎年の借金額は例年と同額をキープしたい

# 3. 基金（貯金）の運用状況

## 基金の種類

- 基金は家庭で言う「貯金」で、全部で22基金
- それぞれに用途が決められており、大きく分けて5分類
- 中でも重要なのは年度間の予算調整のほか、除雪など不測の事態への対応など財政運営の根幹をなす「①財政調整基金」と施設・インフラを維持する「②3基金」
- ①②の合計額は令和4年度末の81.6億円と比較して**実質15億円の減少**



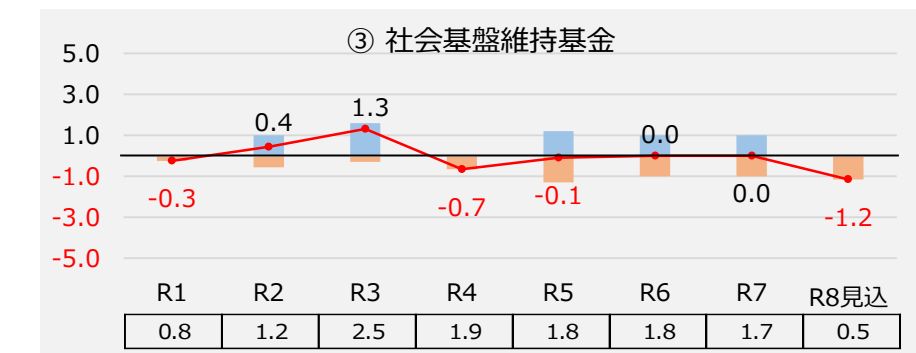
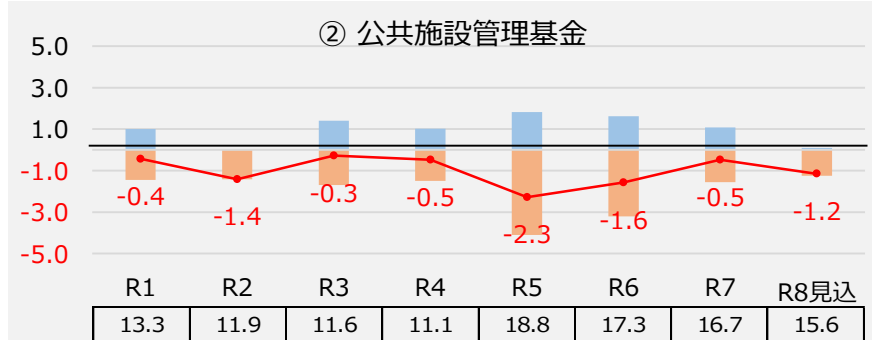
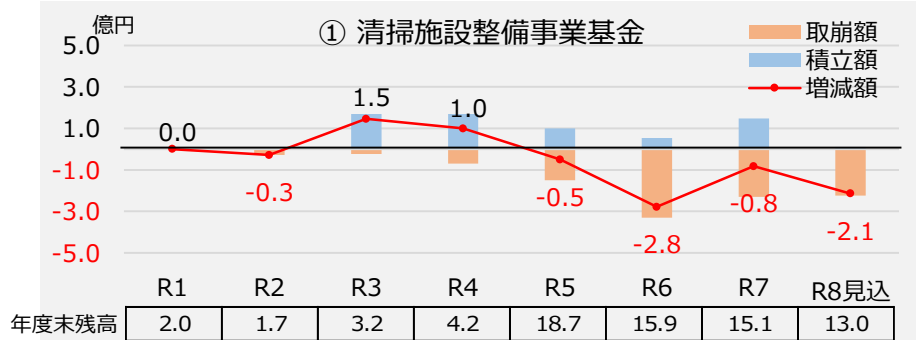
## 5分類

- ① 財政運営の基本となる重要な基金
- ② 基金残高防衛ラインを定め剰余金を優先的に積み立てて運用していく基金
- ③ 積み立てせず施設等整備に活用していく基金
- ④ 特定の事業にのみ活用する基金
- ⑤ 寄附金を原資とし、寄附者の意向に沿って活用する基金

# 3. 基金（貯金）の運用状況

## 3 基金とは

- ① クリーンセンター等の修繕に充当する「清掃施設整備事業基金」（H28～）  
年度間の修繕費の一財を平準化するため創設（0.2億円） ⇒ 令和5年度に財政調整基金から積み増し（15億円）
- ② 公共施設全般の修繕等に充当する「公共施設管理基金」（H29～）  
公共施設等総合管理計画に基づき創設（15億円） ⇒ 令和5年度に財政調整基金から積み増し（10億円）
- ③ 道路等の維持修繕に充当する「社会基盤維持基金」（H30～）  
社会インフラを維持するため創設



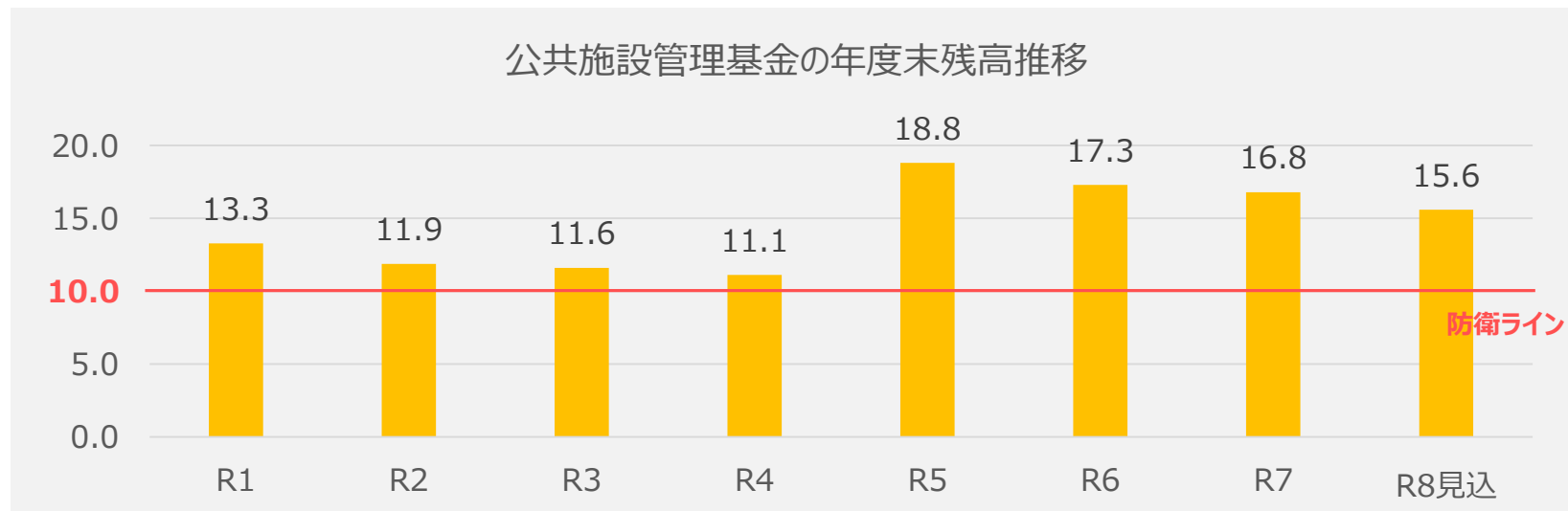
※ グラフは財調基金からの積み増しを除く

- ◆物価高騰もあり、老朽化が進む施設の修繕等に多額の基金投入を余儀なくされている
- ◆あわせて、活用額に見合う積戻しを十分にできておらず、結果として基金残高が減少

### 3. 基金（貯金）の運用状況

#### 公共施設管理基金の今後の運用方針

- 公共施設管理基金は、後年度の活用額を抑制
- 基金残高防衛ラインを10億円と定め、**毎年の活用額と同水準の積戻し**を剰余金の範囲内で優先的に行う
- 万が一、防衛ラインを下回ることが見込まれるときは、事業規模を大幅に縮小するなどの緊急措置を講ずる

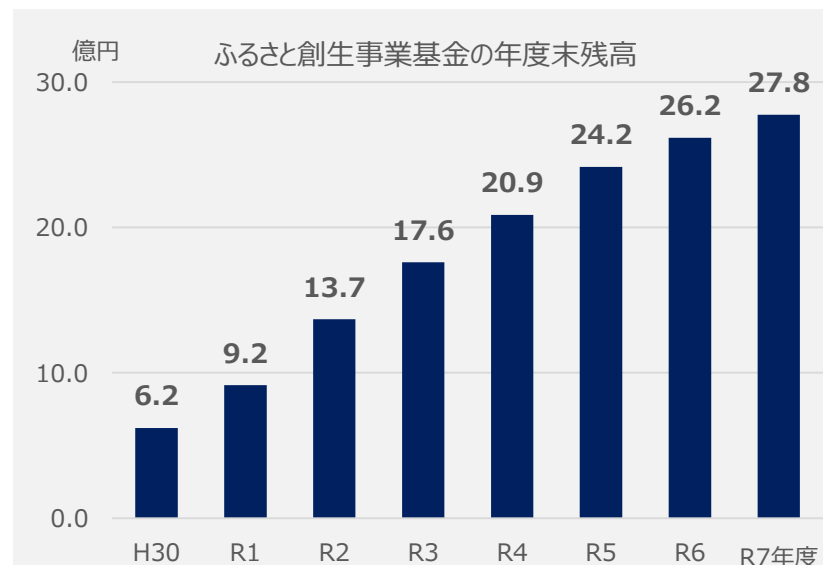
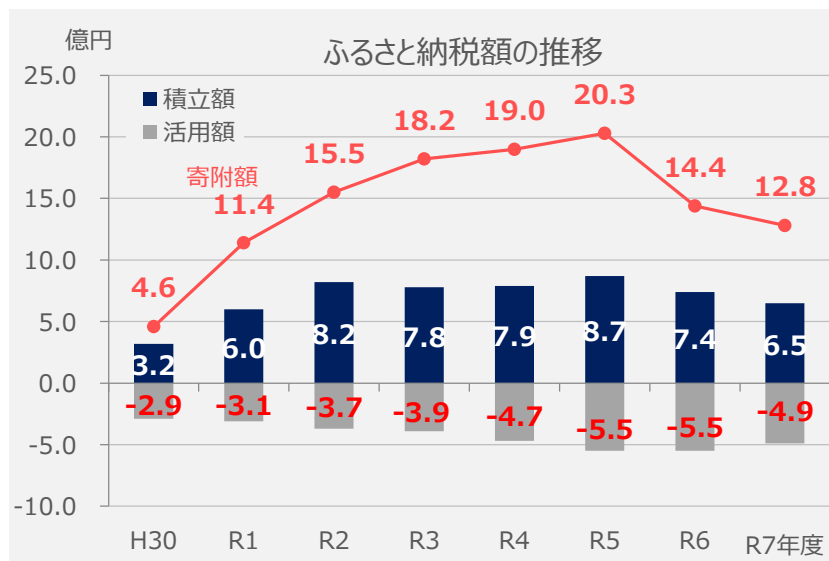


**積戻しを考慮し、毎年の活用額を1億円程度に抑制したい**

# 4. ふるさと納税の活用

## ふるさと納税とは

- ふるさと納税総額の約50%は返礼品や事務手数料、残り50%を貯金して事業に活用
- 総額は令和5年度をピークに減少傾向
- 国制度改正や物価高騰下での返礼品トレンドが日用品に移行していることが原因と分析
- もともと国のさじ加減一つでルールが変わるとても不安定な制度であるため、活用する事業は「ふるさと納税が無くなれば廃止」可能な事業に限定
- **既に約1億円はできれば廃止したくない事業に活用せざるを得ない状況**



➤ **活用額を年間約1億円減らしたい**

### ✓ 飛騨市の財政は大丈夫なの？

- 飛騨市の財政が今すぐ危機的状況に陥るわけではありません
- 財政の健全化を示す指標は国の基準をクリアしており、現時点では全く問題ありません

### ✓ なぜ施設の在り方を検討するの？

- 飛騨市の財政状況や世の中の状況が、令和6年度を境に大きく変化しました
  - ① ふるさと納税額が減少に転じた → **収入が減った**
  - ② 年間借金返済額（公債費）が下げ止まった → **支出の減少が止まった**
  - ③ 世の中が物価高騰、インフレ局面に転じた → **支出が増えた**
- ごみ施設や学校、福祉施設など市民生活に直結する重要な施設でも、まだまだ必要な整備が残っています
- このままだと、5年後、10年後には修繕ができなくなり放置せざるをえません
- そうならないよう、今からでもできることをやりましょう



**まずは維持費が大きい施設から今後の施設の在り方の検討を始めます**

## 飛騨市公共施設在り方検討部会

## 1. 飛騨市における施設（建物）保有状況

★国立社会保障人口問題研究所推計、総務省自治財政局  
令和6年度公共施設状況カードより

自治体名	現在人口 (R7.1.1)	10年後 人口	20年後 人口	行政財産 保有建物面 積 (㎡)	人口一人当 たり保有面積 (㎡/人)	10年後 人口一人当 たり保有面積 (㎡/人)	20年後 人口一人当 たり保有面積 (㎡/人)				
								うち公共用 財産保有面 積 (㎡)	人口一人当 たり公共用財 産保有面積 (㎡/人)	10年後 人口一人当 たり公共用財 産保有面積 (㎡/人)	20年後 人口一人当 たり公共用財 産保有面積 (㎡/人)
飛騨市	20,715	16,243	12,786	251,844	12.16	15.50	19.70	191,436	9.24	11.79	14.97
郡上市	36,083	29,447	24,230	395,670	10.97	13.44	16.33	345,248	9.57	11.72	14.25
土岐市	52,099	45,816	39,922	481,318	9.24	10.51	12.06	426,620	8.19	9.31	10.69
下呂市	27,875	21,674	17,151	249,378	8.95	11.51	14.54	213,617	7.66	9.86	12.46
恵那市	44,546	37,396	31,436	330,049	7.41	8.83	10.50	275,890	6.19	7.38	8.78
美濃市	17,987	15,283	12,603	117,708	6.54	7.70	9.34	110,287	6.13	7.22	8.75
中津川市	72,600	66,022	58,824	463,749	6.39	7.02	7.88	393,834	5.42	5.97	6.70
高山市	80,073	68,018	58,367	492,729	6.15	7.24	8.44	436,620	5.45	6.42	7.48
山県市	23,494	19,559	15,651	135,947	5.79	6.95	8.69	114,901	4.89	5.87	7.34
本巣市	32,011	28,775	25,713	184,726	5.77	6.42	7.18	171,531	5.36	5.96	6.67
海津市	30,534	25,261	20,148	158,087	5.18	6.26	7.85	140,704	4.61	5.57	6.98
関市	81,878	73,410	64,065	411,882	5.03	5.61	6.43	365,733	4.47	4.98	5.71
瑞浪市	35,398	31,293	27,104	151,255	4.27	4.83	5.58	135,205	3.82	4.32	4.99
多治見市	102,069	89,988	78,094	427,816	4.19	4.75	5.48	377,483	3.70	4.19	4.83
大垣市	154,394	145,911	135,667	585,675	3.79	4.01	4.32	527,468	3.42	3.61	3.89
岐阜市	394,151	367,204	339,236	1,276,248	3.24	3.48	3.76	1,168,169	2.96	3.18	3.44
各務原市	141,569	133,370	123,862	407,413	2.88	3.05	3.29	338,181	2.39	2.54	2.73
美濃加茂市	56,960	56,846	55,212	154,104	2.71	2.71	2.79	145,184	2.55	2.55	2.63
瑞穂市	57,528	56,740	54,739	154,665	2.69	2.73	2.83	134,671	2.34	2.37	2.46
可児市	98,006	93,694	87,227	257,551	2.63	2.75	2.95	237,660	2.42	2.54	2.72
羽島市	64,616	59,621	54,507	156,461	2.42	2.62	2.87	129,690	2.01	2.18	2.38
県内市全体	1,624,586	1,481,571	1,336,544	7,244,275	4.46	4.89	5.42	6,380,132	3.93	4.31	4.77
岐阜県全体	1,910,511	1,734,135	1,556,632	8,753,937	4.58	5.05	5.62	7,741,251	4.05	4.46	4.97
日本全国	124,330,690	111,605,000	102,190,000	463,163,868	3.73	4.15	4.53	416,863,620	3.35	3.74	4.08

飛騨市は県内市の中で人口一人当たり施設保有面積がトップクラス！岐阜県、全国平均と比べても3倍以上の過剰な保有面積となっています。

## 2. 飛騨市施設の老朽度

★新地方公会計制度財務4表より（インフラ資産除く）

文化交流センターやク  
リーンセンター、学校、  
市営住宅なども含む

スキー場リフト、  
人工芝、駐車場な  
ど

公用車、消防車、  
圧雪車、楽器など

自治体名	現在人口 (R7.1.1)	事業用資産（建 物）の取得価額		事業用資産（工 作物）の取得価 額		事業用資産（物 品）の取得価額		全体取得価額 計 一般会計 (千円)	減価償却累計額 計 一般会計 (千円)	老朽化率 (%)
		一般会計 (千円)	減価償却 累計額 一般会 計 (千円)	一般会計 (千円)	減価償却 累計額 一般会 計 (千円)	一般会計 (千円)	減価償却 累計額 一般会 計 (千円)			
瑞穂市	57,528	47,408,674	35,841,737	1,341,958	573,869	1,471,437	981,011	50,222,069	37,396,617	74.46%
大垣市	154,394	144,314,123	103,356,655	16,138,411	12,685,898	4,915,027	4,013,265	165,367,561	120,055,818	72.60%
恵那市	44,546	75,044,315	53,170,925	6,501,114	4,701,032	6,638,250	6,040,464	88,183,679	63,912,421	72.48%
高山市	80,073	114,667,575	80,857,251	6,677,198	4,512,357	7,088,605	5,876,882	128,433,378	91,246,490	71.05%
<b>飛騨市</b>	<b>20,715</b>	<b>66,036,306</b>	<b>45,493,504</b>	<b>9,702,925</b>	<b>7,864,647</b>	<b>5,844,963</b>	<b>4,058,600</b>	<b>81,584,194</b>	<b>57,416,751</b>	<b>70.38%</b>
郡上市	36,083	61,517,149	44,204,090	3,330,808	1,984,373	6,423,634	3,661,899	71,271,591	49,850,362	69.94%
中津川市	72,600	91,288,972	63,916,822	9,674,766	7,098,781	9,843,610	5,752,569	110,807,348	76,768,172	69.28%
海津市	30,534	47,234,178	32,006,664	3,743,387	3,171,564	2,210,337	1,506,889	53,187,902	36,685,117	68.97%
羽島市	64,616	51,660,141	35,900,051	1,825,879	895,486	4,048,396	2,620,495	57,534,416	39,416,032	68.51%
美濃加茂市	56,960	43,262,869	29,254,127	1,339,579	906,039	1,589,994	1,275,796	46,192,442	31,435,962	68.05%
山口市	23,494	42,472,810	28,502,755	2,621,099	1,854,833	680,165	557,004	45,774,074	30,914,592	67.54%
各務原市	141,569	151,327,420	100,383,639	5,502,162	2,943,833	7,066,381	4,895,929	163,895,963	108,223,401	66.03%
下呂市	27,875	63,973,632	42,964,006	3,689,200	1,218,602	3,204,002	2,352,247	70,866,834	46,534,855	65.67%
多治見市	102,069	111,989,613	70,944,831	9,115,035	7,790,266	4,535,172	3,543,363	125,639,820	82,278,460	65.49%
岐阜市	394,151	306,545,456	197,406,033	49,115,631	33,476,003	26,154,984	18,576,886	381,816,071	249,458,922	65.33%
美濃市	17,987	21,206,931	13,573,688	1,335,746	1,126,207	504,921	354,702	23,047,598	15,054,597	65.32%
関市	81,878	93,108,171	59,438,166	7,852,340	4,649,217	5,193,580	3,978,462	106,154,091	68,065,845	64.12%
瑞浪市	35,398	42,911,608	26,340,764	6,498,359	4,727,391	3,595,444	2,787,896	53,005,411	33,856,051	63.87%
本巣市	32,011	51,470,669	32,565,661	3,124,072	1,610,630	3,248,544	2,756,787	57,843,285	36,933,078	63.85%
可児市	98,006	75,708,811	46,026,734	1,583,361	427,602	1,991,689	921,549	79,283,861	47,375,885	59.75%
土岐市	52,099	20,905,212	—	2,821,012	—	1,042,864	—	24,769,088	0	0.00%
県内市全体	1,624,586	1,724,054,635	1,142,148,103	153,534,042	104,218,630	107,291,999	76,512,695	1,984,880,676	1,322,879,428	66.65%

県内市の中  
でも資産全体の  
老朽化率は上  
位に位置して  
おり、施設の  
老朽化は深刻  
な状況です。

※土岐市のみ残存帳簿価額での公開

### 3. 検討20施設の占める割合と老朽度

施設名	建物		工作物		物品		計		老朽化率 (%)
	取得価額	減価償却累計額	取得価額	減価償却累計額	取得価額	減価償却累計額	取得価額	減価償却累計額	
⑨アスク山王	187,183	187,183	650	650	2,609	2,609	190,442	190,442	100.00%
⑫ナチュラルみやがわ	354,124	352,836	9,415	9,415	536	536	364,075	362,787	99.65%
⑤割石温泉	540,381	539,114	2,795	2,238	2,715	1,204	545,891	542,556	99.39%
⑭山之村キャンプ場	185,574	182,762	12,030	11,845	0	0	197,604	194,606	98.48%
⑩やまびこ館	256,381	251,908	650	650	1,924	999	258,955	253,557	97.92%
⑬流葉オートキャンプ場	193,773	188,176	0	0	4,555	1,365	198,328	189,541	95.57%
⑮飛騨かわいスキー場	255,167	229,716	1,123,570	1,116,440	97,514	56,096	1,476,251	1,402,252	94.99%
⑧なかんじょ川 宿泊施設	209,130	206,525	117,402	94,618	640	640	327,172	301,783	92.24%
⑱古川ラグビー場	82,909	68,204	97,066	97,028	0	0	179,975	165,232	91.81%
⑯ひだ流葉スキー場	443,877	329,882	1,727,614	1,662,706	254,532	173,556	2,426,022	2,166,144	89.29%
⑰ふれあい広場	131,711	114,970	1,171,913	995,531	37,647	34,226	1,341,271	1,144,727	85.35%
⑳杉崎公園グラウンド	0	0	277,669	231,749	0	0	277,669	231,749	83.46%
⑪板倉の宿種蔵	126,855	102,837	0	0	2,029	2,029	128,884	104,866	81.36%
⑲流葉交流広場	15,477	15,477	100,789	77,621	0	0	116,266	93,098	80.07%
②ゆうわ〜くはうす	460,411	365,375	4,875	4,875	15,458	11,292	480,744	381,541	79.36%
⑥まんがサミットハウス	482,993	374,790	17,029	17,028	2,376	2,376	502,397	394,195	78.46%
①桃源郷温泉すば〜ふる	800,458	545,073	7,550	5,912	7,388	6,489	815,396	557,474	68.37%
④おんり〜湯	474,363	330,957	131,083	83,776	19,614	3,381	625,060	418,114	66.89%
⑦ホテル季古里	738,280	451,500	1,754	282	2,517	584	742,552	452,366	60.92%
③流葉温泉Mプラザ	1,038,568	473,446	4,000	4,000	6,021	4,838	1,048,590	482,284	45.99%
計	6,977,615	5,310,732	4,807,853	4,416,366	458,076	302,218	12,243,543	10,029,316	81.92%
一般会計施設全体	66,036,306	45,493,504	9,702,925	7,864,647	5,844,963	4,058,600	81,584,194	57,416,751	70.38%
うち20施設が占める割合	10.57%	11.67%	49.55%	56.15%	7.84%	7.45%	15.01%	17.47%	81.92%

20施設のみで全体に占める資産割合は15%、減価償却累計額は17%を超え、**老朽化率が極めて高い状況にある施設が殆ど。**

**工作物はスキー場リフトや人工芝グラウンドがあることから、全体の半分を占める。**

# 1. 経常的・突発的に発生する施設の 高額修繕費 ～近年の実績より～

## スキー場

### 【圧雪車の維持経費】

令和7年度

圧雪車点検整備

- ・ 飛騨かわいスキー場 4,398千円
- ・ ひだ流葉スキー場 7,260千円



### 【飛騨かわいスキー場】

令和5年度（令和4年度繰越）

第4リフトサイリスタ盤更新  
18,920千円



### 【ひだ流葉スキー場】

令和6年度（令和5年度繰越）

第11・12リフト用高圧受電設備更新  
40,127千円



# スキー場

## 【飛騨かわいスキー場】

令和5年度 圧雪車購入  
49,500千円



## 【ひだ流葉スキー場】

令和6年度 圧雪車購入  
49,500千円



## 【すぱーふる】

令和7年度 洋風浴場サウナヒーター更新 1,056千円



## 【宮川温泉おんり〜湯】

令和4年度 源泉ポンプ更新  
19,085千円



# 温浴施設

## 【ゆうわ〜くはうす】

令和3年度 ウォーターチリングユニット更新 12,667千円



## 【Mプラザ】

令和3年度 真空式温水ヒーター更新  
10,978千円



# 宿泊施設

## 【ホテル季古里】

令和5年度 パワーバルク更新工事  
4,598千円



## 【やまびこ館】

令和4年度 エアコン更新工事（4台）  
1,265千円



## 【まんがサミットハウス】

令和6年度 浄化槽制御盤等更新工事  
1,342千円



## 【山之村キャンプ場】

令和6年度 夕顔の駅浄化槽水中ブ  
ロワ更新工事 1,155千円



## 【流葉キャンプ場】

令和6年度 コテージ凍結防止ヒー  
ター更新工事（6棟） 1,472千円



## 【なかんじょ川施設】

令和4年度 なかんじょ川受水槽更  
新工事 2,706千円



## 2. 財政的負担などから修繕を見送っている公共施設 ～公共施設を取り巻く現実～

### 【杉崎公園グラウンド】

人工芝張替え 291,000千円  
夜間照明設備 29,000千円



### 【桜ヶ丘体育館】

アリーナ照明設備LED化 46,000千円



### 【ひだ流葉スキー場】

第3ペア平行リフトサイリスタ盤・リフト  
制御盤更新 56,000千円



【飛騨かわいスキー場】

第2リフト通信ケーブル更新  
11,000千円



【ひだ流葉スキー場】

第11ペアリフト減速機・電動機オーバーホール 15,000千円



【ひだ流葉スキー場】

第1クワッドリフト鋼索交換  
34,000千円



【ひだ流葉スキー場】

第1クワッドリフト電動機オーバーホール 15,000千円



【すぱーふる】

源泉ポンプ・制御盤更新  
25,000千円



【ゆうわ〜くはうす】

浴室トップライトシーリング補修  
8,000千円



【Mプラザ】

男女流水浴槽更新 5,000千円



【Mプラザ】

中央監視装置本体更新 36,000千円



【まんが王国】

側溝修繕工事 2,000千円



【ホテル季古里】

空調用チラー更新 25,000千円



【流葉キャンプ場】

コテージ全棟屋根塗装 11,000千円

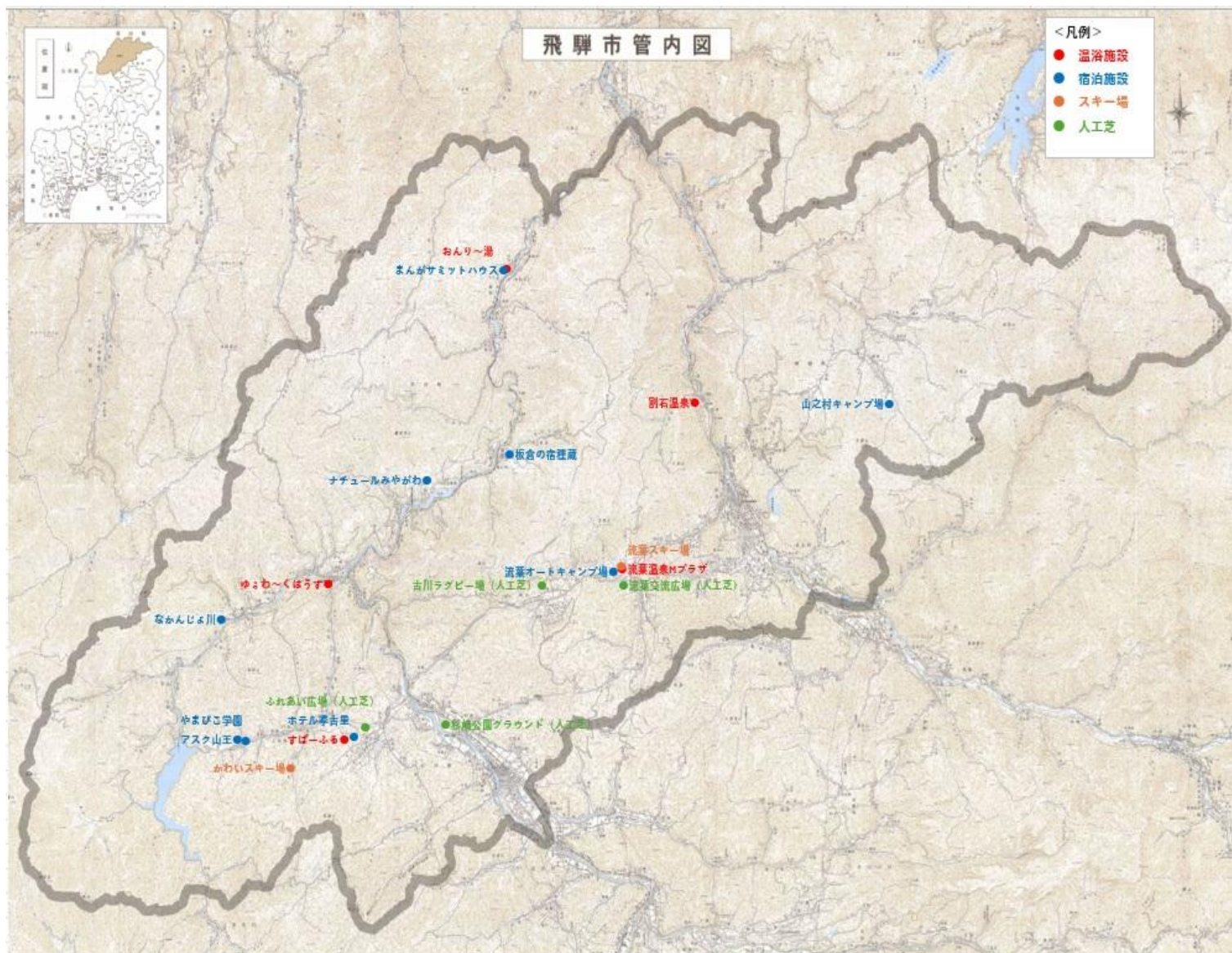


【ナチュールみやがわ】

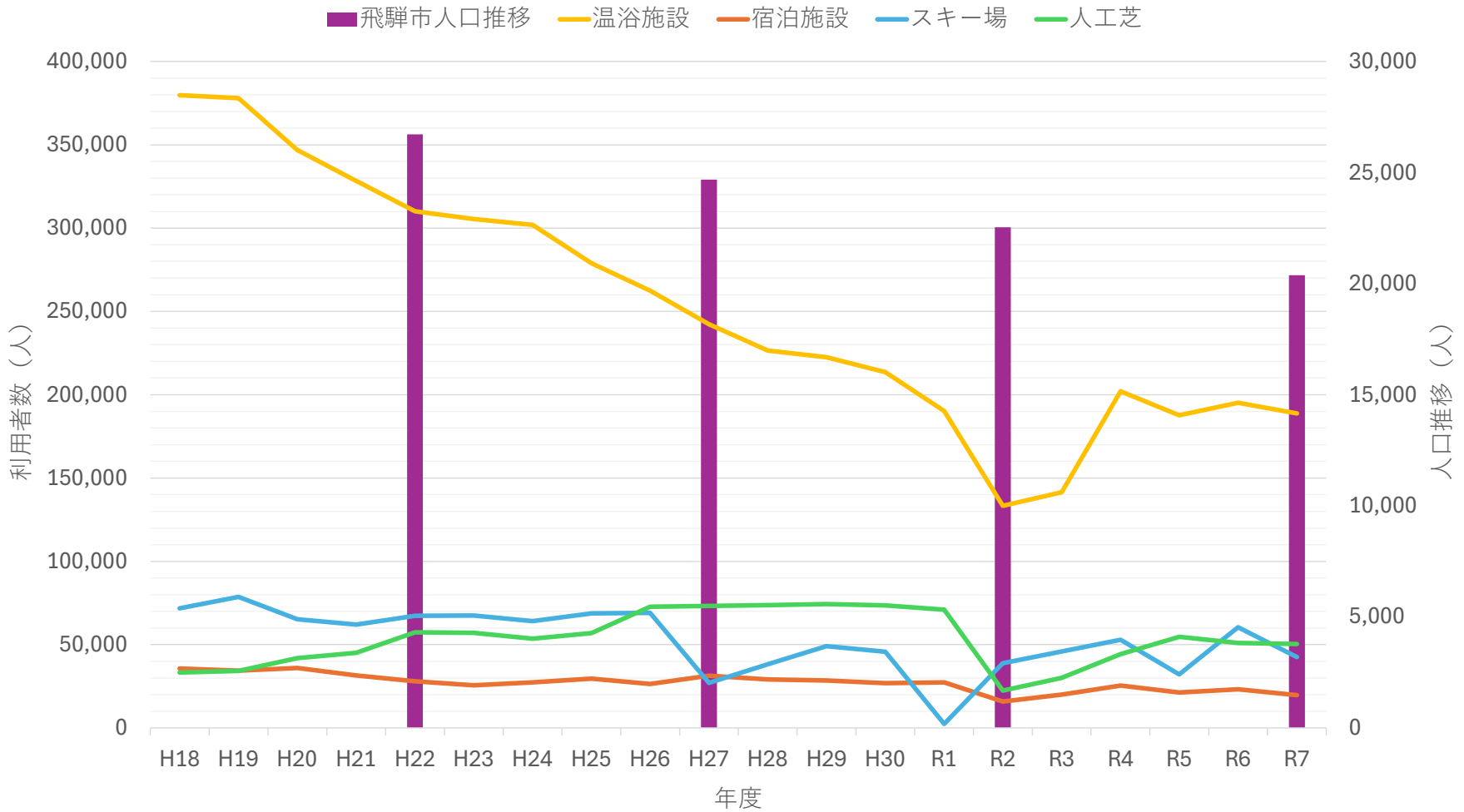
研修棟解体 7,000千円



# 検討対象 20 施設の運営状況について



## 施設種別別 利用者数推移



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
飛騨市人口推移					26,727					24,692					22,538					20,378
温浴施設	379,676	377,979	346,950	328,398	310,181	305,466	301,925	278,962	262,461	242,356	226,475	222,480	213,617	190,265	133,393	141,481	202,014	187,655	195,146	188,761
宿泊施設	35,759	34,339	35,979	31,529	27,977	25,563	27,335	29,615	26,391	31,434	29,060	28,425	26,891	27,458	15,832	19,987	25,529	21,282	23,248	19,727
スキー場	71,799	78,637	65,198	62,058	67,407	67,560	64,197	68,709	69,076	27,013	38,219	49,077	45,736	2,411	38,819	45,991	53,020	32,181	60,517	42,628
人工芝	33,311	34,183	41,994	45,173	57,361	57,140	53,623	57,021	72,832	73,266	73,662	74,279	73,561	71,087	22,341	30,107	44,301	54,644	51,017	50,339
特記事項										暖冬	暖冬			暖冬	コロナ禍	コロナ禍	コロナ禍	暖冬		

## 20施設近年の運営状況（総括）

No.	区分	施設名	老朽度			利用度		コスト		収益力	
			補助制限	供用開始 (西暦)	経過 年数	6年間 (R1~R6) 利用人数計	単年度 平均 利用人数	6年間 (R1~R6) 市負担額計	利用者 一人あたり 市負担額	6年間 (R1~ R6) 施設売上 収入計	利用者 一人あたり 売上収入
1	風呂	すば一ふる	無	1993	33年	244,843人	40,807人	155,733千円	0.6千円	114,489千円	0.5千円
2	風呂	ゆっわ〜くはうす	無	1995	31年	134,384人	22,397人	144,965千円	1.1千円	97,448千円	0.7千円
3	風呂	Mプラザ	無	2000	26年	302,063人	50,344人	259,220千円	0.9千円	195,644千円	0.6千円
4	風呂	おんり〜湯	無	1992	34年	71,039人	11,840人	175,925千円	2.5千円	55,651千円	0.8千円
5	風呂	割石温泉	無	1980	46年	296,700人	49,450人	167,816千円	0.6千円	66,485千円	0.2千円
6	宿	まんがサミットハウス	有り	1994	32年	8,612人	1,435人	103,932千円	12.1千円	129,851千円	15.1千円
7	宿	ホテル季古里	有り	1997	29年	29,175人	4,863人	51,206千円	1.8千円	419,736千円	14.4千円
8	宿	なかんじょ川	無	1990	36年	27,405人	4,568人	14,066千円	0.5千円	46,818千円	1.7千円
9	宿	アスク山王	無	1997	29年	2,976人	496人	8,095千円	2.7千円	12,658千円	4.3千円
10	宿	やまびこ館	無	1998	28年	14,991人	2,499人	30,260千円	2.0千円	95,941千円	6.4千円
11	宿	板倉の宿種蔵	有り	2008	18年	3,883人	647人	27,286千円	7.0千円	26,402千円	6.8千円
12	宿	ナチュラルみやがわ	無	1995	31年	6,694人	1,116人	7,213千円	1.1千円	34,381千円	5.1千円
13	宿	流葉オートキャンプ場	無	1998	28年	24,112人	4,019人	18,089千円	0.8千円	82,632千円	3.4千円
14	宿	山之村キャンプ場	無	1971	55年	15,453人	3,091人	15,210千円	1.0千円	27,717千円	1.8千円
15	スキー	飛騨かわいスキー場	無	1984	42年	59,952人	11,990人	224,725千円	3.7千円	143,053千円	2.4千円
16	スキー	ひだ流葉スキー場	無	1960	66年	170,576人	34,115人	452,987千円	2.7千円	448,947千円	2.6千円
17	人工芝	ふれあい広場	有り	2010	16年	79,357人	13,226人	8,301千円	0.1千円	25,147千円	0.3千円
18	人工芝	古川ラグビー場	無	2005	21年	44,279人	7,380人	4,533千円	0.1千円	4,769千円	0.1千円
19	人工芝	流葉交流広場	有り	2009	17年	54,020人	9,003人	9,660千円	0.2千円	5,795千円	0.1千円
20	人工芝	杉崎公園グラウンド	無	2012	14年	95,841人	15,974人	6,332千円	0.1千円	6,394千円	0.1千円
人工芝グラウンド 計						273,497人	45,583人	28,826千円	0.1千円	42,105千円	0.2千円
計						1,686,355人		1,885,554千円	1.1千円	2,039,958千円	1.2千円

★施設区分別 20 施設の市負担支出額 (単位：千円)

区 分	施設数	単年度平均市負担支出額				単年度平均 負担額 計
		指定管理料	借地料	※単発支援金	営繕費用	
温浴施設	5	81,883	939	3,233	39,432	125,486
宿泊施設	9	24,282	1,070	4,543	15,998	45,893
スキー場施設	2	21,530	9,402	6,137	75,883	112,952
人工芝グラウンド	4	2,747	0	152	866	3,765
計	20	130,442	11,411	14,064	132,179	288,096

温浴施設、  
スキー場の  
負担が特に  
大きい状況  
となっています。

※単発支援金は、コロナ対策支援金、暖冬対策支援金、物価高騰対策支援金など

# 公共施設在り方検討部会の具体目標

## 目標 1

施設維持管理費及び修繕費の削減

**目標値 1 億円/年**

## 目標 2

今後 10 年間で必要となる大規模改修費の削減

**目標値 15 億円/10 年**

20施設の方向性検討 基礎資料

No.	区分	施設	現状機能	借地料 (R6決算)	指定管理料 (R8予定)	今後10年 大規模修繕 必要額 (@287,500円/ ㎡)	営繕費										
							区分	(R1決算)	(R2決算)	(R3決算)	(R4決算)	(R5決算)	(R6決算)	(R7決算)	平均額 (特殊年除く)		
1	温浴	すばーふる 1,554.33㎡	風呂	856千円	21,300千円	446,870千円	風呂		1,124千円	132千円		2,310千円	172千円	1,219千円	1,234千円		
			食堂						690千円				229千円	0千円			
			休憩室				605千円	638千円	2,173千円		589千円	447千円	570千円	535千円			
2	温浴	ゆうわ〜くは うす 966.15㎡	風呂	-	-	277,768千円	風呂	662千円	1,029千円	14,663千円	1,909千円	196千円	198千円	693千円	362千円		
			食堂														
			宴会受入														
			休憩室														
			トレーニングルーム														
							風呂以外							110千円			110千円
								6,330千円						2,380千円			2,380千円
	全体	5,152千円	4,845千円	372千円	660千円	253千円	2,926千円	262千円	1,147千円								
3	温浴	Mプラザ 2,372.07㎡	風呂	-	-	681,970千円	風呂	70,728千円	1,793千円	14,846千円	6,980千円	4,861千円	5,051千円	7,371千円	5,761千円		
			食堂														
			宴会受入														
			休憩室														
							風呂以外								0千円		
		8,700千円							2,574千円								
4	温浴	おんり〜湯 温浴 988.93㎡ カフェ 690.3㎡	風呂	16千円	22,100千円	482,779千円	風呂	594千円	452千円	2,251千円	21,021千円	3,115千円	143千円	12,417千円	5,225千円		
			食堂									156千円		641千円	399千円		
			宴会受入				1,531千円	6,160千円		116千円	8,852千円	3,421千円	506千円	4,260千円			
			休憩室														
5	温浴	割石温泉 本館 548.36㎡ 別館 914.52㎡	風呂	-	22,916千円	367,993千円	風呂	1,837千円	1,684千円	176千円	829千円	517千円	834千円	2,823千円	1,391千円		
			休憩室												0千円		
							1,198千円	636千円	4,848千円	512千円	2,752千円	622千円	160千円	1,178千円			

20施設の方向性検討 基礎資料

No.	区分	施設	現状機能	借地料 (R6決算)	指定管理料 (R8予定)	今後10年 大規模修繕 必要額 (@287,500円/ ㎡)	営繕費							平均額 (特殊年除く)	
							区分	(R1決算)	(R2決算)	(R3決算)	(R4決算)	(R5決算)	(R6決算)		(R7決算)
6	宿泊	まんがサミットハウス 1,574.53㎡	宿泊	-	14,400千円	452,678千円	全体	17,995千円			1,430千円	803千円	2,107千円	0千円	970千円
			まんが図書館												
7	宿泊	ホテル季古里 2,327.39㎡	宿泊(風呂含む)	428千円	-	669,125千円	全体	1,062千円	327千円	150千円	8,688千円	11,238千円	2,527千円	2,448千円	3,777千円
			宴会受入												
8	宿泊	なかんじょ川	バンガロー	127千円	2,040千円	-	コテージ			1,232千円	4,312千円				0千円 385千円 1,674千円
			テント泊					806千円			385千円				
			川遊び						242千円	156千円		677千円	2,671千円		
			落石ほか												
9	宿泊	アスク山王	コテージ宿泊	200千円	665千円	-	全体	119千円	1,381千円	254千円	695千円	110千円	113千円	0千円	74千円
10	宿泊	やまびこ館	宿泊	-	2,830千円	-	全体	5,954千円	3,741千円	1,007千円	2,477千円	164千円	967千円	1,750千円	960千円
11	宿泊	板倉の宿種蔵	宿泊	-	4,720千円	-	全体			1,151千円	660千円	165千円	1,010千円	0千円	392千円
12	宿泊	ナチュラルみやがわ	コテージ	-	518千円	-	全体	151千円	1,630千円	2,662千円	1,267千円	442千円	801千円	919千円	721千円
13	宿泊	流葉オートキャンプ場	コテージ	282千円	1,000千円	-	コテージ			788千円	892千円	2,097千円	4,662千円	675千円	2,478千円 0千円
			テント泊				他		166千円				421千円		
			日帰キャンプ												
14	宿泊	山之村キャンプ場	バンガロー	-	2,090千円	-	コテージ	324千円			721千円		268千円		268千円 0千円 3,036千円
			コテージ									88千円			
			テント泊						1,977千円		3,036千円				
			食堂												

20施設の方向性検討 基礎資料

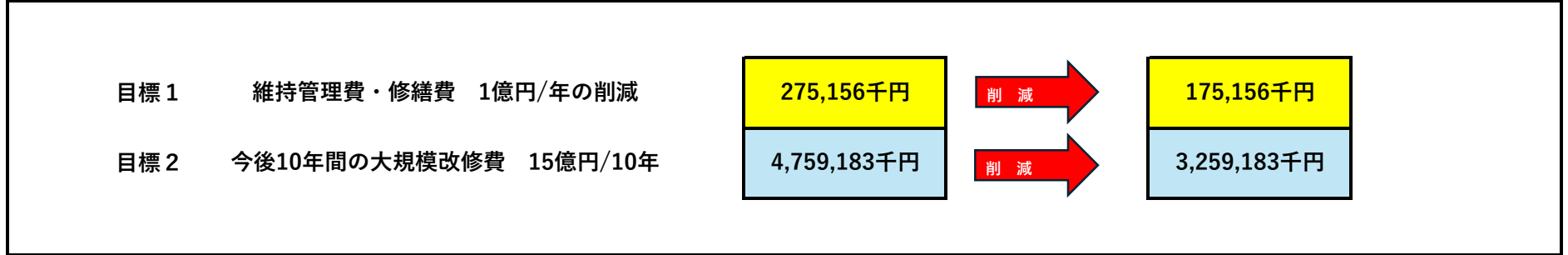
No.	区分	施設	現状機能	借地料 (R6決算)	指定管理料 (R8予定)	今後10年 大規模修繕 必要額 (@287,500円/ ㎡)	営繕費							平均額 (特殊年除く)	
							区分	(R1決算)	(R2決算)	(R3決算)	(R4決算)	(R5決算)	(R6決算)		(R7決算)
15	スキー	飛騨かわいスキー場	市民スキー場 (第2)	880千円	10,700千円	-	第2リフト	7,700千円	1,430千円	143千円					0千円
			第5リフト						5,553千円					0千円	
			第3リフト							6,985千円	6,930千円	3,032千円	5,649千円		
			第4リフト					1,430千円			18,920千円	1,269千円		1,350千円	
			リフト全体				17,600千円							0千円	
			食堂				697千円			992千円	880千円			880千円	
			圧雪車				2,288千円	2,365千円	5,152千円	6,886千円	51,700千円	4,666千円	4,638千円	5,776千円	
			全体					200千円	974千円	4,201千円				0千円	
16	スキー	ひだ流葉スキー場	下部ゲレンデ (第2)	8,574千円	5,000千円	-	第2リフト				39,050千円		8,962千円		8,962千円
			第3リフト							572千円	4,070千円			4,070千円	
			クワッド						1,760千円	1,606千円	2,959千円	9,897千円	2,750千円	3,794千円	
			第10リフト											0	
			第11リフト						671千円		886千円	42,547千円		779千円	
			第12リフト						220千円	990千円	6,600千円			5,000千円	
			リフト全体				7,752千円		29,338千円	12,100千円	2,860千円	7,348千円	9,933千円	6,714千円	
			カミーン				583千円	138千円			2,673千円		327千円	1,500千円	
			圧雪車					1,994千円	26,664千円	10,410千円	5,489千円	55,574千円	7,260千円	10,363千円	
			全体				3,960千円	9,443千円	5,509千円	1,470千円	515千円	1,727千円		1,121千円	

20施設の方向性検討 基礎資料

No.	区分	施設	現状機能	借地料 (R6決算)	指定管理料 (R8予定)	今後10年 大規模修繕 必要額 (@287,500円/ ㎡)	営繕費							平均額 (特殊年除く)	
							区分	(R1決算)	(R2決算)	(R3決算)	(R4決算)	(R5決算)	(R6決算)		(R7決算)
17	人工芝	ふれあい広場	人工芝 1面	-	1,050千円	345,000千円	人工芝					941千円	0千円	471千円	
			WA (天然芝)							6,597千円		0千円	-		
			WB (天然芝)									0千円	-		
			V (天然芝)									0千円	-		
			その他				458千円	5,901千円	1,100千円				0千円	-	
18	人工芝	古川ラグビー場	人工芝 1面	-	720千円	345,000千円	人工芝					181千円	2,145千円	1,163千円	
			数河高原ラグビー場 (天然芝)				ラグビー場	713千円	5,445千円			98千円		236千円	-
			平成G (天然芝)				平成G		1,727千円	3,421千円	10,558千円		11,467千円	14,466千円	-
			数河高原G (雑草)										789千円	-	
			緑地広場 (土)				緑地広場						498千円	-	
19	人工芝	流葉交流広場	人工芝 1面	-	1,370千円	345,000千円	人工芝				3,795千円	182千円	198千円	1,392千円	
			休養村G				休養村G							-	
20	人工芝	杉崎公園グラウンド	人工芝 1面	-	-	345,000千円	人工芝					363千円	0千円		

## 20施設の方向性検討 基礎資料

No.	区分	施設	現状機能	借地料 (R6決算)	指定管理料 (R8予定)	今後10年 大規模修繕 必要額 (@287,500円/ ㎡)	営繕費							平均額 (特殊年除く)	
							区分	(R1決算)	(R2決算)	(R3決算)	(R4決算)	(R5決算)	(R6決算)		(R7決算)
<b>20施設の維持管理修繕費と 大規模修繕必要費 計</b>				11,363千円	163,519千円	4,759,183千円		151,430千円	59,107千円	133,884千円	152,842千円	157,560千円	185,646千円	85,210千円	100,274千円

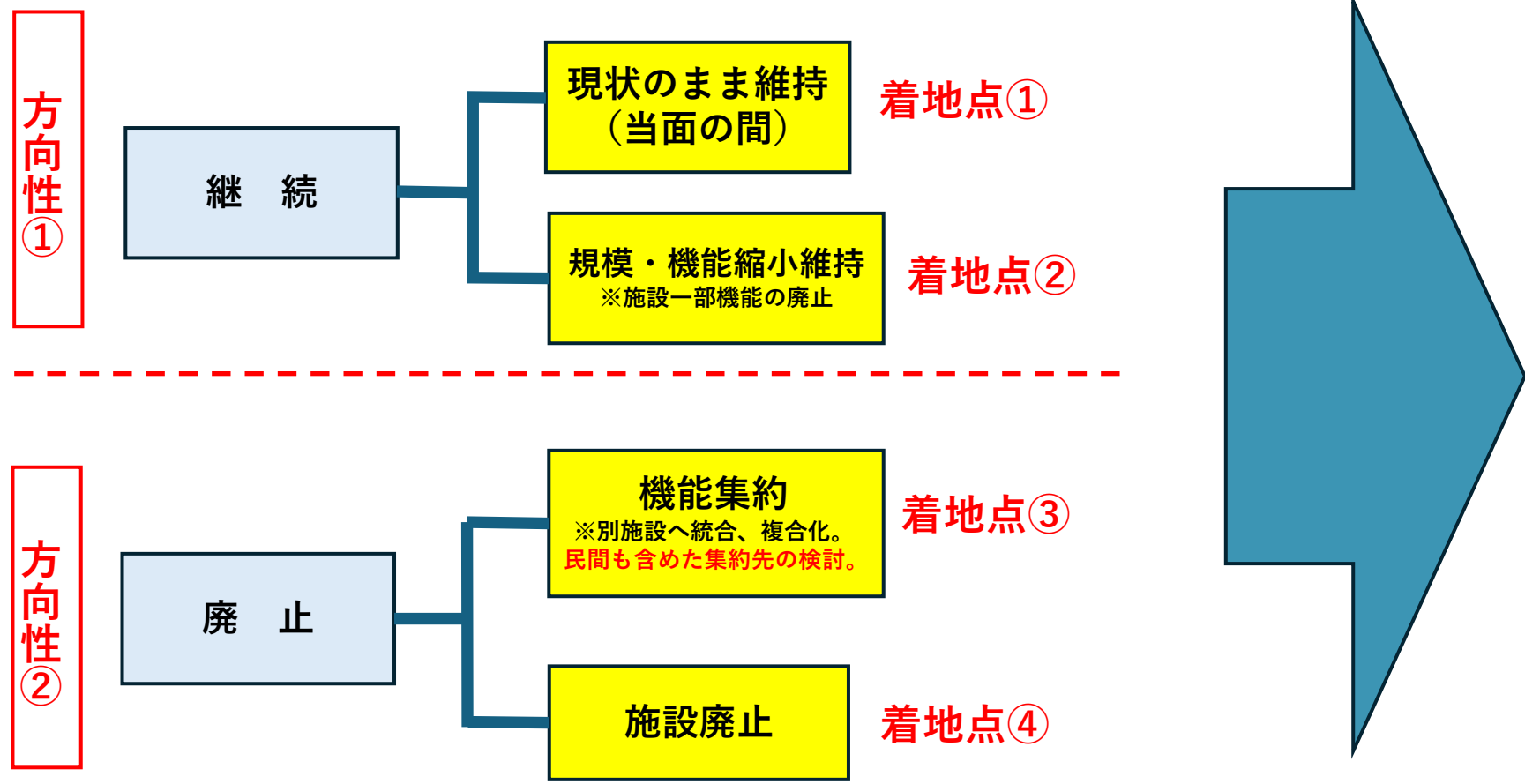


# 目標達成のための方向性検討・着地点（イメージ）

～将来世代への責任を果たすために～

**検討  
20  
施設**

※方向性  
①②のい  
ずれかを  
選択肢と  
して検討



施設方向性検討プロセスを全ての公共施設へ

**ただ廃止・縮小ではなく、施設の活用・影響緩和施策を検討**

※施設の用途転用、ソフト的な施策など

# ★方向性・着地点の具体事例

## 方向性①

### 【継続】

- ・現時点では施設を維持すべきと判断される施設など

## 着地点①

### 【現状のまま維持】

- ・利用状況や費用対効果、老朽度の面などから当面の間、現状のまま維持する
- ・個別特殊事情により、現状を維持する
- ・機能を集約する元となる施設とするなど

## 着地点②

### 【規模・機能縮小維持】

- ・温浴施設の温浴・食堂ほか機能のうち温浴部分を廃止
  - ・スキー場リフト、ゲレンデ、ロッジ等の一部廃止
  - ・宿泊施設、宿泊棟の一部廃止
- など、規模・機能を縮小する

## 方向性②

### 【廃止】

- ・現時点の利用状況などから役割を終えたと考えられる施設
- ・現時点の運営状況、費用対効果、将来負担など財政面において用途を廃止すべきと判断される施設など

## 着地点③

### 【機能集約】

- ・温浴施設の温浴機能を市内他の公の施設へ集約する
- ・温浴施設の利用を民間のサービス施設へ誘導する
- ・スキー場を市内1箇所へ統合する
- ・人工芝グラウンドを他の公の施設に集約するなど

## 着地点④

### 【施設廃止】

- ・民間へ譲渡する
  - ・市内各種団体へ譲渡する
  - ・施設の老朽度合いなどから解体する
- など

機能縮小・廃止後の施設活用・影響緩和施策

### 【廃止施設の活用】

- ・トレーニングジムへ転用
  - ・公文書館へ転用
  - ・倉庫、事務所（民間団体含む）へ転用
- など
- ※現在用途よりも市民ニーズ、利便性が向上する転用。

### 【ソフト的な代替策】

- ・一定期間温浴施設割引券を配布する
  - ・代替施設等への無料バス券の配布、送迎
- など
- ※市民目線での斬新かつ経済性、将来性のある緩和施策。